

## 地元のケーブルテレビ局と番組を制作し地域住民の健康維持・増進を目指す



カテゴリー：④地域連携

富士吉田市立看護専門学校、山梨県富士吉田市上吉田 5606-18、3年課程、1学年定員数 50 名、修業年限 3 年  
 ≪学校概要≫

自校は、地域住民の保健医療福祉の充実と向上の一翼を担う有能な看護師を育成することを目的に平成 8 年に設立された山梨県唯一の公立の看護専門学校である。進学者のほぼ全員が山梨県内に、そのうち 6 割が富士吉田市（富士山を中心とした豊かな自然環境に恵まれた市で 2020 年の人口は約 4 万 6 千人、労働力人口 58.6%、高齢化率 30.0%である）を含む富士・東部地域（人口 17 万人）の医療圏に就職しており、自校の果たす役割は大きい。

≪番組制作の経緯≫

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴い教職員の「自分たちに何かできないか」という思いから、2020 年 6 月に富士吉田市を主なサービスエリアとするケーブルテレビ局の（株）CATV 富士五湖（以下、CATV）と番組を制作した。初回は、「手洗い&熱中症予防～コロナに負けるな！洗い残しを探せ～」で、手洗いチェッカーを活用した手洗いや、速乾性アルコール消毒薬の正しい使用方法を実演した。

≪番組制作の概要≫

現在 4 年目を迎え、地域住民の健康維持・増進が目的になり「看護学校からお届け！」と題しシリーズ化している。番組は、教員 1 名とボランティア学生 2～3 名、CATV の担当者 2 名で毎月、撮影している。撮影時間は 1 時間で、放映時間は約 7～10 分（2 日間/月）である。番組の構成は担当する教員が考え、主に学生が実演する。昨年度から、訪問看護ステーションの看護師や市役所の保健師にも出演して頂いている。

番組タイトルは、次である。なお、2023 年度 8 月以降は予定である。

年度	放映	番組タイトル	年度	放映	番組タイトル
2020	7月	手洗い&熱中症予防～コロナに負けるな！洗い残しを探せ～	2022	6月	愛情たっぷり！離乳食
	8月	フットケア ～知っておきたい爪の切り方～		7月	夏をのりきろう！熱中症とその予防
	9月	沐浴の今と昔～おじいちゃんおばあちゃん必見！～		8月	採血のあとの止血はどのくらい？
	10月	高齢者の転倒予防① ～転倒の原因を探れ！～		9月	私の“怒り”をコントロール
	11月	高齢者の転倒予防② ～転倒予防のための対策編～		10月	看護学生のお弁当選手権！～バランスのよい食事～
	12月	皮膚の保湿 ～冬。乾燥に負けない！～		11月	テントウボウシ～転ばないまち ふじよしだ～
	1月	湯たんぽの使い方 ～低温火傷を予防する～		12月	看護師にきこう！訪問看護のお仕事！ ※訪問看護ステーションと協同
	2月	薬の飲み方～子どもが嫌がる薬。あなたはどうか飲ませる？		1月	危険 心筋梗塞！雪かき後に脱水予防していますか？
	3月	点眼の方法 ～薬の効果を得るために～		2月	医師にきこう！肝臓病の予防とその治療 ※校長と協同
	2021	4月		睡眠が重要！～良い睡眠でからだも心も健康に～	2023
5月		毎日の血圧 正しく測ろう！	4月	いこう！つづけよう！乳がん検診	
6月		正しい歯の磨きかた！	5月	ストップ！骨粗鬆症	
7月		ストレスとは？	6月	オーラルケア ※健康長寿課と協同	
8月		上手にストレスと付き合う！	7月	熱中症予防	
9月		幼児を危険から守れ！	8月	見てみようあなたの周りに潜む菌！※微生物学講師と協同	
10月		転倒予防	9月	子宮がんワクチン接種のすすめ	
11月		脱メタボリック！10年前のズボン履けますか？	10月	テントウボウシ～転ばないまち ふじよしだ～	
12月		ヒートショックにご用心！正しいお風呂の入り方	11月	ウォーキングの正しい方法	
1月		今日からできる便秘予防！	12月	火傷の対処方法	
2022	2月	生命の誕生！	1月	訪問看護のお仕事 第二弾 ※訪問看護ステーションと協同	
	3月	災害への備えは万全に！	2月	節酒のすすめ	
	4月	本当に怖いタバコの話！	3月	バランスの良い食事を摂ろう！	
	5月	元気に生活！健康寿命を伸ばそう！	2024	4月	歌うことは、元気の源！ ※元高校教師（音楽）と協同

≪地域貢献の成果と今後の展望≫

番組を視聴している地域住民から「毎回楽しみに見ているよ」「湯たんぽは足から少し離すんだね」「番組をみて『やっぱり血圧を測ったほうがいいな』と思って毎日測っています」などの感想を聞く。山梨県の健康寿命は、男女ともトップクラス。番組を通して、身近な暮らしから健康維持・増進のための予防行動を地域住民に伝えていくことは、富士吉田市が目指す「安心して健やかな暮らしを支える『保健・医療・福祉』の向上」の大きな一助となることを感じている。学生たちは「テレビにでると祖父母が喜ぶ」「祖父母が親戚の集まりで毎回番組を嬉しそうにみせている」等と話す他、番組の出演を通して学習や予防行動の重要性を理解する機会になっている。また、教員にとっても番組制作は、企画力や表現力などの資質向上につながっている。

